

コロナ禍に加え猛暑の中、特別な夏をお過ごしのことと存じます。長い戦いになりますが負けることの無いように、日々笑顔になれることを見つけて前向きに過ごしましょう。

『あそびのタネ通信』VOL. 64 をお届けします。

最後までどうぞ、お付き合いください。

■ INDEX ■

- (1) 「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」の始動について
- (2) こども支援士認証 更新について
- (3) 書類審査による「こども支援士」認証について（募集終了）
- (3) (財) 東京学校支援機構について（求人状況）
- (4) 青少年体験活動について
- (5) 事務局より

◆ (1) 「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」の始動について ◆

公教育を変革する「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」の始動について (東京学芸大学)

2020年8月5日に教員、企業と教育委員会がワンチームとなって、Society5.0に向けた新しい学校システム創りに挑戦する「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」が始動しました。

このプロジェクトでは東京学芸大学、東京学芸大学附属学校（竹早地区）の現場教員と NEC、コクヨ、内田洋行、博報堂などの企業および岡山県津山市、岩手県山田町、その他の教育委員会が密に連携していくことによって、構想をすぐに学校や授業で実験していくことに取り組みます。日本初の産官学連携の学校システム改革チームの誕生です。

誰もが「好きに、挑む」ことができる未来の学校モデルの開発に挑戦することがテーマです。この取り組みを通じて、日本の既存の「学校像」を抜本的に変革していきます。

現在、現場教員、企業発の様々なプロジェクトが推進中です。下記にて一例を記載します。

<学校の運営改革>

- ・ 学校内コワーキングスペース設置：企業・外部人材とのコワーキングが可能な職員室
- ・ 子どものトラッキングシステム開発：出欠の自動化、子どもの行動・状況把握、安全/安心を守るシステム

<学習支援のデジタル化と学びの拡張>

- ・ 教科跨ぎアクティブラーニング：教科を越境して、学びをつなげる ICT システムの開発
- ・ オンライン PBL：PBL/探究学習をオンラインで、汎用化させるシステム開発/環境整備
- ・ 困難な状況にある子どもの学習支援：不登校等の子どもに対する支援システム開発整備

<新しい学校学習環境の創造>

- ・ AR/VR 実験ルーム：AR/VR 教材開発と物理的な制約を超えた学びの共同体の設計

- ・ Society5.0 時代の新しい図書館：図書館が保有する知のデジタル化とサービスの拡張
- ・ リモートクラスルーム：遠隔の教育がネットワークにより繋がる、新しい学校システムのあり方

＜教育者の力量開発とチーム化の促進＞

- ・ 指導案 AI システム：指導案と授業履歴を AI で分析するレコードシステムの開発
- ・ 「ダブルワーク」教員：企業人等のダブルワーク化と小中版「クロアポ」開発

＜学校を取り巻く社会システムの改革＞

- ・ 学校/塾/家庭の協働システム：データの共有とリテラシーのマスタリーラーニング（完全習得学習）
- ・ 家族ユニットでの「ワーケーション」実現：新しいライフスタイルと学びのニューノーマル

「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」の趣旨にご賛同いただき、新たに参加して下さる、企業や教育委員会を募ります。東京学芸大学と附属竹早地区を舞台にして、日本や世界の「未来の学校」をみんなで創ってみませんか。ご連絡いただけることをいつでもお待ちしております。

■参加企業（50音順）

株式会社内田洋行、株式会社学研教育みらい、株式会社カモマン、コクヨ株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社、tanQ 株式会社、認定特定非営利活動法人 Teach For Japan、株式会社出島プランニング、特定非営利活動法人東京学芸大こども未来研究所、凸版印刷株式会社、株式会社日本能率協会マネジメントセンター、日本電気株式会社、株式会社 NOLTY プランナーズ、株式会社博報堂、東日本電信電話株式会社、株式会社 FIREBUG、株式会社 Five for、Mistletoe Japan 合同会社、一般財団法人三菱みらい育成財団、株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

■参加教育委員会（50音順）

岩手県山田町教育委員会、岡山県津山市教育委員会、その他の教育委員会

[本件に関する報道関係者の問い合わせ先]

国立大学法人東京学芸大学 財務・研究推進部 研究・連携推進課
TEL : 042-329-7877 メール : icb-tgu@u-gakugei.ac.jp

◆（2）こども支援士認証 更新について ◆

【こども支援士認証 更新について】

本年度の更新対象の皆様には、更新手続きについてのお便りをお送りしました。更新申請用紙の受け付けは8月21日金曜日迄です。どうぞよろしくお願い致します。

今回更新対象となる方は、平成28年3月にこども支援士講座を受講され、こども支援士の認証を取得された方です。（更新期限が2020年9月30日の方）

◆（3）書類審査による「こども支援士」認証について（募集終了） ◆

◆ 平成31年度4月から2年間限定で、書類審査による「こども支援士」の認証を行っております。

7月31日金曜日にて募集を終了致しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

◆ (4) 青少年体験活動について ◆

2020年度（令和2年度）青少年体験活動アワードのお知らせ

2020年度青少年体験活動アワードの参加者を募集中です。

<今年度の特長>

- ①新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、自宅で過ごす時間が増えていることから「特別コース」を設けました。通常は全てのジャンルの体験の活動をしなければなりません、「特別コース」は、ジュニア版は、1領域、2領域のみでも可能とし、シニア版は、1領域、2領域、3領域でも可能とします。ただし、領域が少なくなる分、時間数、回数が増えるように設計しました。
- ②ジュニア版の記録ブックに、アドバイザーの濱村さんデザインのすてきなイラスト版ができました。

参加お申し込みの際に、まず、標準コースか特別コースのどちらを選択するか、またジュニア版の場合は、記録ブックの選択を参加者にご相談ください。詳細は、お近くのアドバイザーに確認していただくか、チラシをお読みください。

ご不明な点がございましたら、青少年体験活動アワード事務局までメールでご連絡ください。
(ホームページはただいま準備中です。)

<問い合わせ先>

E-mail: info@japan-youth-award.net

Facebook は以下のとおりです。

<https://www.facebook.com/青少年体験アワード-1029125923952542/>

◆ (5) 事務局より ◆

- 住所変更、メールアドレス変更があった場合は、速やかに事務局に届け出ていただけるようお願いいたします。

連絡先：メール info@jactes.or.jp / 電話 042-329-7605

○認証者のみなさまへ

日頃の活動について、是非当協会まで記事をお寄せ下さい。寄せられた記事については、個人情報等を考慮してメールマガジン等で多くの方に紹介させていただきたいと思っております。

東京都小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学内

TEL&FAX : 042 - 329 - 7605

E-mail : info@jactes.or.jp

URL : www.jactes.or.jp

Facebook : <https://www.facebook.com/jactes>
